

支部欄

京都支部・京星會だより(八月)

夏休みを利用して會員諸氏は山へ海へ出掛けられる。そうして夜の高山の頂に海邊に透徹せる大氣を通して白雲の如く連なる銀河や降るばかりの星の輝きに讚嘆の叫びを残して歸つて來られる。それらの會員諸氏が會ふと直ぐ山や海での星の美しかつた事を語り合ひ都會の空の悪いのを今更の様に話し合ふ。そうして晴れてさへみればあのような空を毎夜でも見られるであらう。田園の同好者をつくづく美しがり、自分等を同好者中で最も不幸な者であるかの様に云ふ。しかし考へてみれば同好者にして京都市に住む者程幸福者はないのでなからうか？ 田園の同好者は勿論良い空に恵まれ、觀測には全く文句なしであらう。しかしそれらの人は大抵會合出来る範圍に一人の同好者も持たず獨りぼつちである事が多い。星を語る友も持たず手を取つて觀測の指導を受ける先輩もなく觀測にしても研究にしても唯一人で進まねばならない一寸經驗者に聞けば解る事でも書物や通信では抄らない、この點京都に住む者は先づ第一に市内に花山天文臺を持つてゐる。何と云つてもこれは大きい



京都支部、京星會同人の近江舞子キャンプ記念
(左より宇野、田中、高井、10種反射機)
ペルセ流星群、東天黃道光、變星、アンタレス掩
蔽觀測隊のキャンプ生活(昭和十年8月8日11日)

光である。次に京都は都會だけに同好者は多い、現在100名の同好者が京都市内に散ばつてゐる。全然一人の星友も持たぬ人もあらうが求めれば得られる。都會に住む者は空が悪いといふ條件を附けられるかほり以上のような良い點を持つてゐるの

である。この點をよりよく生かし觀測上の不満を充す爲に都會の同好者は集團を形成するのが良いのでなからうか？ 團體の組織の力の働きによつて個

々の同好者の趣味の向上と進歩を計る事が出来るのではなからうか？ この事は京星會が壹ヶ年の經驗によつて良く知つた點である。以上の事は京都以外の都市に於ても云ひ得る事であらう。

本月は再度の豪雨があつたり颱風が襲つたり、慌しい内にすんでしまつた。大阪市の天文研究會との Persens 座流星群協同觀測も9日曉まで出來たが後は曇雨天の爲觀測不能となり。9日の Antares 掩蔽は掩蔽課幹事が中心になつて協同觀測を計劃し課報を發行し1班は10種反射望遠鏡を持って滋賀縣雄松崎まで出張し大いに緊張したが不幸雨の爲に何等得る處は無かつた。

27日に總會開催準備幹部會が開かれ9月8日創立壹週年第2回總會開催が決定され當日の議事や會則改正、幹事改選に關する打合せがなされ、京星會創立以來壹ヶ年の報告として「京星會創立壹週年記念誌」の發行が決定された。これは目下調査完了した會員所有天文圖書總目録及び會員名簿、會員分布地圖を合せ10月發行される。

會誌「京星」第3號(5月號)、第4號(7月號)、第5號(9月號)保存分あり、御希望の方は1部に付き2錢切手12枚花山天文臺協會事務室宛御送り下されば御送附致します。

大 阪 市 岡 中 學 支 部 だ よ り

我が市岡中學天文研究が市岡中學支部と成りてより二ヶ月、その間色々準備や在校生の最も力を入れるべき學期試験で何らなすことなく過してしまつた。

我々にとつて觀測の最適當な休暇は學校に泊り込んで觀測をしやうと思つてゐたが期待に反して全く駄目だつた。七日の“七夕”は都合により休止、九日の“アンタレス”の掩蔽は雲のため残念ながら出來ず、中旬のペルセウス座の流星も雲の爲め出來ず、太陽觀測は休暇の爲め休止。その上中旬の豪雨下旬の強風豪雨の爲めドーム及び機具に少し故障を生じ、八月は全く厄月であつた。觀測と云へば井澤氏と松瀬君との變光星觀測が少しばかりあるのみだ。今僕等は復興、整理に大いにつとめてゐるのである。(K. S. 生)

行け!! 爽壯と!! 京阪神合同ハイキングの計畫

急 告： 近日京阪神地方在住會員の合同ハイキングを行ふ豫定、コースは山崎、天王山、八幡を経て一方花山天文臺に到る。出來るだけ多數の會員の参加を希望する。御希望の方は下記宛御申出下さい。日時、プログラム精細決定次第御通知します。

- 京都市上京區紫野宮西町13 宇野良雄
- 花山天文臺内東亞天文協會事務所